

## 令和 2 年度森林づくり推進支援金の検証・評価について

北信地域振興局林務課

- 平成 30 年度以降の森林づくり推進支援金は、交付対象事業の公表、事業実施後の検証、評価及びその内容の公表を市町村が自ら行うこととしています。
- 市町村は事業実施後、「森林づくり推進支援金事業総括書」により事業の検証及び評価を行い、地域振興局を通じて「みんなで支える森林づくり地域会議」の意見を聴いた後にこれをHPで公表します。
- 令和 2 年度事業の内訳は以下の一覧表のとおりです。

(単位：千円)

市町村名	事業項目	事業名	事業費	負担内訳		備 考
				支援金	その他	
中野市	森林を支える豊かな地域づくり	中野市多目的森林公園再整備事業（遊歩道整備）	408	272	136	木製ステップ整備
		中野市里山整備事業（緩衝帯整備）	756	752	4	緩衝帯整備
	計		1,164	1,024	140	
飯山市	木を活かした力強い産業づくり	菜の花公園木製ベンチ製作委託	935	935	0	県産材ベンチ設置
山ノ内町	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備事業	1,210	1,202	8	緩衝帯整備
木島平村	木を活かした力強い産業づくり	道の駅ファームス木島平木製遊具導入事業	528	352	176	県産材遊具の設置
			121	121	0	県産材積み木購入
	計		649	473	176	
野沢温泉村	木を活かした力強い産業づくり	県産材利活用事業	508	508	0	県産材ベンチ設置
栄村	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備事業	1,023	899	124	緩衝帯整備
合計			5,489	5,041	448	

## 令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

中野市

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	令和 2 年度 中野市多目的森林公園再整備事業 (遊歩道整備)
事業費		408,020 円 (うち支援金: 272,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

市民の憩いの場となる森林空間整備が求められている。現在、市内にも憩いの空間となる森林空間があるが、近年、森林空間の整備不足が近隣住民から指摘されており、再整備を行う必要性が生じている。

#### (2) 本事業の目的

林内遊歩道の適正管理を実施することにより、間山温泉公園森林内の遊歩道を保全し、市民の憩いの空間を保つ。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 建応の森・ぽんぽこ杉の森遊歩道

(2) 対象者 建応の森・ぽんぽこ杉の森利用者

(3) 実施方法 遊歩道の草刈等による整備

(4) 事業目標及び当年度事業量

#### ①全体計画 (令和 2 年～令和 4 年度)

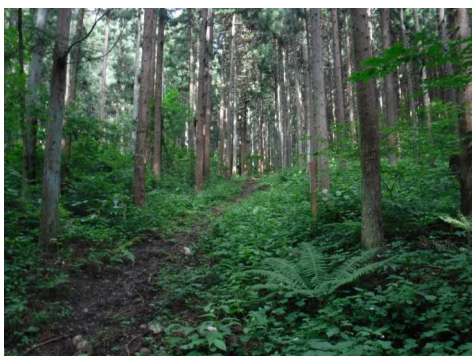
令和 3 年度以降は引き続き多目的森林公園再整備事業を実施予定

(森林公園内歩道橋修繕、林内車道不陸修繕等)

#### ②令和 2 年度計画(実績)

木製ステップ等の修繕、緩衝帯整備

作業前



作業後



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

本事業を実施することで、森林空間内の遊歩道の利用にあたっての機能性を高めることができ、地域住民等がより安全かつ快適に森林空間に触れ合うことができる。

### (2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

今年度、遊歩道の木製ステップ等の整備を実施した後、引き続き、森林公園内歩道橋修繕や、林内社内不陸補修等、さらなる整備を予定している。

### (3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

遊歩道の木製ステップ等の整備を行うことで、より機能性を増し、かつ美しく整備された森林空間内の遊歩道等を市民等に提供できる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

森林空間の遊歩道周辺の草刈及び遊歩道修繕等を実施したことにより、間山温泉公園森林内の遊歩道を保全することができた。

### (2) 課題

間山温泉公園森林内に整備が必要な遊歩道は存在することから、今後も施業を行うことが望ましい。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

間山温泉公園森林内の木製ステップの修繕及び森林公園内歩道橋修繕を予定。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

## 令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

中野市

No.	事業項目	事業名
2	森林を支える豊かな地域づくり	令和 2 年度 中野市里山整備事業 (緩衝帯整備)
事業費		755,700 円 (うち支援金: 752,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

戦後に植林された人工林の多くが間伐期を迎えている。森林所有者は木材価格の低迷により、森林経営に対する意欲が低く里山の手入れが行われていない。そのため野生鳥獣が潜みやすい藪が繁茂しており、容易に里山近隣に出没する環境となることで農林被害が増加している。

#### (2) 本事業の目的

里山の森林整備 (緩衝帯整備等) を実施することにより、野生鳥獣が容易に人里に出没できないように森林環境を整備する。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

- 実施場所 桜沢地区の林縁
- 対象者 桜沢地区の住民
- 実施方法 緩衝帯整備のための除伐
- 事業目標及び当年度事業量

#### ①全体計画 (令和 2～令和 4 年度)

令和 3 年度以降は引き続き多目的森林公園再整備事業及び緩衝帯整備事業を実施予定

#### ②令和 2 年度実績

除伐 1.98ha

作業前



作業後



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

緩衝帯整備を実施し、野生鳥獣が潜む箇所が無くなり、人里に近づきにくくすることができる。野生鳥獣による人的被害を防止し、安全な地域づくりを図る。

### (2) 継続性

引き続き、緩衝帯整備や森林公園内歩道橋修繕や、さらなる整備を予定している。

### (3) 普及性

野生鳥獣が出没しにくい里山環境を作ることで森林施業を軽減し、農作物被害を減少させる。また、野生鳥獣による人的被害から住民を守ることができる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

荒廃している里山の茂みを取り払うことにより、見通しのきく緩衝帯ができた。

### (2) 課題

放置すれば数年で元の茂みに戻ってしまうことから、今後も定期的に施業を行えることが望ましい。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

令和3年は森林公園内歩道橋修繕を予定。

# 令和2年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	飯山市
------	-----

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	菜の花公園木製ベンチ製作委託
事業費 935,000 円 (うち支援金: 935,000 円)		

## 事業目的

### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

森林の価値について、当地域材の低価値による関心の低さから、森林のもつ水源涵養性や山地災害防止機能など、森林の持つ重要性が忘れられ、森林の保全が放置されつつある。

### (2) 本事業の目的

((1) の課題への対応方向について記載)

飯山市の大イベントのひとつ、菜の花まつり会場の菜の花公園に県産材を使用したベンチを導入することによって、県産材の良さをアピールし、県産材の普及啓発を促す。

## 事業内容

### (1) 実施場所 飯山市瑞穂菜の花公園

### (2) 対象者 市民、観光客

### (3) 実施方法 県産材ベンチ、解説用看板の導入

### (4) 事業目標及び当年度事業量

#### ①全体計画 (令和元年度～令和5年度)

- ・R1～R3 で菜の花公園全体に県産材ベンチを導入する。

R4 以降は未定



完成



完成

## 事業効果

### (1) 事業実施による効果

(事業目的に対応する効果について記載)

県産材のベンチを導入することにより、飯山市民に県産材の良さを普及できる。

### (2) 継続性

(事業又は事業効果の継続性、発展性について記載)

菜の花公園を整備することにより、快適な公園利用ができるとともに、長野県産材の魅力や森林税の有効利用をPRできる。

### (3) 普及性

(事業の効果が県民等の目に見える形で発現されるものであることについて記載)

飯山市の観光の中心である菜の花公園にて、県産材ベンチを導入することで快適な公園利用ができ、多くの住民に対して県産材の良さを伝えることができる。

## 事業の検証及び評価

### (1) 目標に対する成果の状況

県産材のベンチを導入することにより、飯山市民に県産材の良さを普及できた。菜の花まつりの他、大勢の観光客が訪れる菜の花公園なので、市外、県内外の方にも、木製の温もりのあるベンチに座ってもらい、自然豊かな長野県のPRにつながった。

### (2) 課題

市内で長野県産材を利用したいという意識が低いことから、今後も県産材の普及啓発が必要である。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

引き続き、菜の花公園にて県産材の普及啓発を行う予定。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

## 令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

山ノ内町

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備事業
事業費 1,210,000 円		(うち支援金: 1,202,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

当該地区の里山は有害鳥獣の出没が多く農林業被害や人的被害が発生している。有害鳥獣の移動経路となっている林や藪が里山近くに繁茂している。地区・所有者での能力には限界があり、除伐することができない。

#### (2) 本事業の目的

緩衝帯を整備することで住宅地や農地において有害鳥獣の出没を抑制し、農林業被害や人的被害の防止を図りたい。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 実施場所 上条和田地区

#### (2) 対象者 地元住民

#### (3) 実施方法 北信州森林組合に委託

#### (4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和 2~令和 4 年度): 令和 2 年度は緩衝帯整備 0.1ha、令和 3 年度以降は未定

②令和 2 年度実績: 令和 2 年度 0.1 ha (上条和田地区)





## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

山林地と住宅地や農地の山林の除伐を行うことで、野生鳥獣が潜む場所が無くなり、住宅地や農地に近づきにくくすることができる。これにより農林業被害や人的被害を予防する効果が期待できる。

### (2) 継続性

地域住民が対処できない山林の除伐を行うことで、事業実施以降の藪の管理がしやすくなる。また、除伐箇所は鳥獣被害防止のための電気柵が設置されていることから、併せて地域での緩衝帯整備の維持を行いやすくなり、継続的な効果が見込める。

### (3) 普及性

緩衝帯整備により、住宅地や農地における出没数が減少する効果が見込める。減少により、野生鳥獣被害は減少する。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

山林地と住宅地や農地の山林の除伐を実施できたことで野生鳥獣が潜む場所が無くなり、住宅地や農地に近づきにくくすることができた。これにより農林業被害や人的被害を予防する効果が高まった。

### (2) 課題

伐採対象の木々はりんご畑等と隣接することから効率の良い林業機械の進入が出来ない場所だった。伐倒作業は主にチェーンソーで行われリングの木に当たらないようワイヤーロープ等を利用したことから、通常の森林整備よりも作業効率が悪く伐倒面積に対する事業額が割高となった。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

森林づくり推進支援金事業は別の事業で利用する予定ですが、上条和田地区での緩衝帯整備は町単独事業として継続する。

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

## 令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

木島平村

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	道の駅ファームス木島平 木製遊具整備事業 (木製遊具 4 種類の導入)
2	木を活かした力強い産業づくり	道の駅ファームス木島平 木製遊具整備事業 (大きな積み木の導入)
事業費 649,000 円 (うち支援金: 473,000 円)		

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

森林の価値について、当地域材の低価値による関心の低さから、森林のもつ水源涵養性や山地災害防止機能など、森林の持つ重要性が忘れられ、森林の保全が放置されつつある。

#### (2) 本事業の目的

県産材の良さをアピールし、県産材の普及啓発を促すこと。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 木島平村道の駅ファームス木島平

(2) 対象者 木島平村民及び観光客

(3) 実施方法 備品購入 (木製遊具 4 種類及び、大きな積み木の設置)

(4) 事業目標及び当年度事業量

#### ①全体計画 (令和 2 年～令和 4 年)

令和 2 年度 木製遊具整備事業

令和 3 年度以降 未定

#### ②令和 2 年度実績 木製遊具整備事業 木製遊具 4 種類及び積み木セット



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

地域住民や観光客が、実際に間伐材利用の木製遊具等に触れることで森林整備の必要性や木材の良さ等を実感できる。さらに森林税 PR プレートの設置により、森林税の認知度を上げることができる。村内の森林所有者においては、間伐に対する意識の向上が図られ、間伐実施面積の増加が期待できる。

### (2) 継続性

道の駅ファームス木島平は、そば屋、カフェ、直売所など老若男女、集う公園であり、国道沿いで交通量も多く、あらゆる世代に広く周知できる。

### (3) 普及性

駐車場などはアスファルトなどの人工物が目に入ることもあるなか、国道沿いの芝生広場に木製遊具を設置することで、森林整備の必要性や間伐材の利用促進し、地域住民等への森林整備に対する意識の高揚と県産材の利用促進を図る。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

道の駅ファームス木島平は、そば屋、カフェ、直売所など老若男女、集う公園であり、県産材の良さをアピールし、県産材の普及啓発をあらゆる世代に広く周知できた。

### (2) 課題

森林の価値、県産材の良さをアピールし、県産材の普及啓発を促すには、まだまだ身の回りの県産木材製品は多いとは言えない。今後も県産材の普及を啓発することで、当地域材の価値、森林のもつ水源涵養性や山地災害防止機能など、森林の持つ重要性が理解され、森林の保全が図られる事業を実施しなくてはならない。

### (3) 今後の取組方向

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

今後も県産材を利用した製品を多くの人が集う場所などに効果的に整備し、県産材の普及啓発に努める。

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

## 令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名

野沢温泉村

No.	事業項目	事業名
1	木を活かした力強い産業づくり	県産材利活用事業
事業費		508,200円 (うち支援金:508,000円)

### 事業目的

(1) 地域の森林・林業の現状と課題

野沢温泉村内の公共施設では県産材を利用した建物が少なく、地域の住民も県産材を利用したいという意識が低い。よって、県産材や市町村産材の利用を促進するために、県産材の良さを普及する必要がある。

(2) 本事業の目的

木質ベンチを公共の場に設置することにより、地域住民や観光客に県産材の良さをアピールすることで、県産材の普及啓発を促すことを目的とする。

### 事業内容

(1) 実施場所 虫生活性化センターに3基、ふるさとの湯に2基の県産材のベンチを設置

(2) 対象者 野沢温泉村民及び野沢温泉村への観光客

(3) 実施方法 県産材のベンチを公共施設に設置 県産木材の解説パネルの設置

(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和2~4年度)

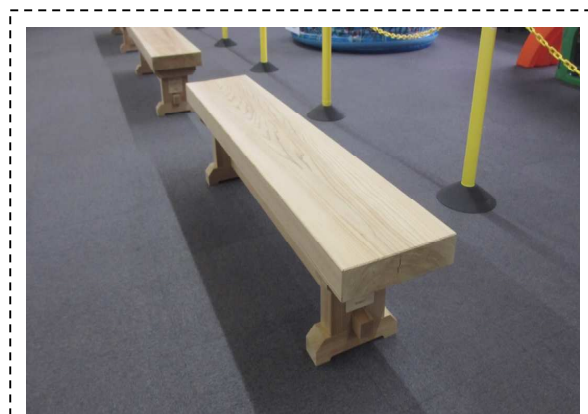
- ・令和2年度 県産材活用事業
- ・令和3年度 県産材活用事業 (予定)
- ・令和4年度~ 未定

②令和2年度 実績

県産材活用事業 県産材ベンチの設置 5基



県産材表示プレート



虫生活性化センター

## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施による効果

- ・公共性のある場所に県産材を利用した木製ベンチを設置する事で、県産材の普及が図れる。

### (2) 継続性

- ・森林づくり推進支援金により、県産材製品を設置して普及啓発を行っている。また設置事業を継続することにより、住民や観光客への注目を集めて普及啓発を効果的に行うことができる

### (3) 普及性

- ・公共施設や主要観光場所に設置することにより、地域住民とともに、観光客にも県産材の普及啓発を図ることができる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

- ・今年度は長野県産材を利用したベンチ5基の設置をおこなった。昨年も同事業を実施し、累計で長野県産材ベンチ13基、長野県産材テーブルセット2セットを村内各地に設置し、住民及び観光客へ長野県産材の普及することができた。

### (2) 課題

- ・村内で長野県産材を利用したいという意識が低いため、今後も県産材の普及が必要である。

### (3) 今後の取組方向

- 事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

- ・引き続き住民及び観光客に長野県産材をPRすることができるよう、事業実施していく。

- 事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

- 事業を継続しない

(継続しない理由を記載)

(別記様式第 15 号)

## 令和 2 年度 森林づくり推進支援金事業総括書

市町村名	栄村
------	----

No.	事業項目	事業名
1	森林を支える豊かな地域づくり	緩衝帯整備事業
事業費		1,023,000 円 (うち支援金: 899,000 円)

### 事業目的

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

#### (1) 地域の森林・林業の現状と課題

当該地区の里山は、有害鳥獣の出没が多く、農林業被害や人的被害が発生している。有害鳥獣の移動経路となっている林や藪が里山近くに繁茂している。地区・所有者での能力には限界があり、除伐することができない。

#### (2) 本事業の目的

緩衝帯を整備することで、住宅地や農地において有害鳥獣の出没を抑制し、農林業被害や人的被害の防止を図りたい。

### 事業内容

(別記様式第 1 号附表の「個別事業実績」から転記)

(1) 実施場所 笹原地区、当部地区

(2) 対象者 地元住民

(3) 実施方法 栄村森林組合に委託

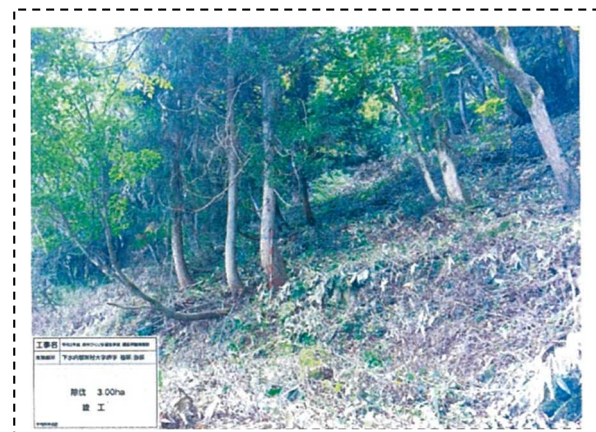
(4) 事業目標及び当年度事業量

①全体計画 (令和元年～4 年度)

令和 2 年度～令和 4 年度 15ha

②令和 2 年度実績

令和 2 年度 3.0ha



## 事業効果

(別記様式第1号附表の「個別事業実績」から転記)

### (1) 事業実施の効果

山林地と住宅地や農地の山林の除伐を行うことで、野生鳥獣が潜む場所が無くなり、住宅地や農地に近づきにくくすることができる。これにより農林業被害や人的被害を予防する効果が期待できる。

### (2) 継続性

持続的な緩衝帯整備を行い、野生鳥獣による住宅地や農地への出没減少が期待できる。これにより、地域住民の安心、安全な暮らしの確保につながり、被害の防止効果も期待できる。

### (3) 普及性

緩衝帯整備事業により、住宅地や農地における出没数が減少する効果が見込める。減少により、野生鳥獣被害は減少する。また、緩衝帯整備の効果を住民に普及できる。

## 事業の検証及び評価

(実施結果を踏まえた自己評価と今後の取組方向について具体的に記載)

### (1) 目標に対する成果の状況

山林地と住宅地や農地の林縁部の除伐を行うことで、野生鳥獣が潜む場所が無くなり、人里に近づきにくくすることができた。

### (2) 課題

継続的な除伐、下草刈をしないと、元に戻ってしまい、野生鳥獣が活動しやすい環境に戻る可能性がある。

### (3) 今後の取組方向

今後も場所を選定しながら、緩衝帯整備を継続していきたい。

事業を現行どおり継続する

(今後の事業実施見込について記載)

令和2年度～令和4年度 15ha

事業内容を見直して継続する

(見直し内容及び今後の事業実施見込について記載)

事業を継続しない

(継続しない理由を記載)